

まとめ

- 『山間部黒い雨地域で広島原爆放射能の痕跡をつかまえた』とは、まだ言えない。
- 同時に『山間部黒い雨地域で広島原爆 falloutの中心であった』という仮説は否定されない。
- 『沈着後2週間で10~60mGyの外部被曝』という今中の見積もりはいまでも有用である。

35

‘黒い雨’放射能研究会の基本姿勢

いずれにせよ、

66年前に広島・長崎で起きたことを明らかにしておくため、それぞれの専門性の範囲で、できる限りのことをやっておく。

ご静聴ありがとうございました！